

バングラデシュにおけるテロ事案を受けた取組

1 情報収集・分析の強化

✓ 国内外における情報収集・分析の強化

- 「国際テロ情報収集ユニット(CTU-J)」、「国際テロリズム緊急展開班(TRT-2)」、「海外緊急展開チーム(ERT)」をバングラデシュに派遣
- 国内においては、各都道府県警察、各海上保安本部、各公安調査局に対し、関連情報の収集を指示

➡ 今後は、「国際テロ情報収集ユニット」の体制・能力の強化、関係省庁間の連携の一層の推進等により、情報収集・分析力を強化

2 海外における邦人の安全確保

✓ 邦人への情報発信・注意喚起の強化

- バングラデシュについて、事案の発生及びテロへの一層の注意を改めて呼びかける海外安全情報(スポット情報)を、全世界について、テロの危険及び安全対策を呼びかける海外安全情報(広域情報)を発出

➡ 今後は、情報発信・注意喚起を更に強化し、発信した情報の浸透を徹底

発信した情報の
浸透の徹底

- 安全対策に関するセミナーの充実
- インターネット・スマートフォン等の多様な媒体を用いた情報発信の強化

✓ 全在外公館に邦人の安全確保に万全を期すよう指示

- 全在外公館に対し、①安全対策連絡協議会の開催等による邦人への注意喚起、②日本人学校との緊密な連携、③JICA等支援関係者との安全認識・対策の再確認、④現地当局への警備強化の申し入れを指示

➡ 今後は、ODA事業関係者の安全対策を策定するため、「国際協力事業安全対策会議」を立ち上げ、8月中に結論

3 政府一丸となった各種テロ対策の徹底

✓ 水際対策の強化

- 全国の入管・税関に対し、空海港における水際取締りを強化するよう指示
- 各海上保安本部等に対し、外国船舶に対する立入検査等水際対策の徹底を指示

➡ 今後は、水際関連情報の共有体制を拡充、物的基盤の整備を強化

水際関連情報の
共有体制の拡充

- 伊勢志摩サミットに際して整備した警察、入管、税関の情報共有体制を一層深化

物的基盤の
整備の強化

- 不正薬物・爆発物探知装置、X線検査装置等の水際取締資機材の整備を強化

✓ 重要施設・ソフトターゲットに対する警戒警備の強化

- 各都道府県警察、各海上保安本部に対し、重要施設・ソフトターゲットにおける警戒監視、管理者対策の徹底等を指示するとともに、各都道府県等に対して警戒体制の強化、原子力事業者に対して警備の強化等を要請

➡ 今後は、◆ 伊勢志摩サミットに際して推進したような官民一体となったソフトターゲットへの対策を引き続き推進

◆ 空港におけるボディスキャナー等の先進的な保安検査機器、港湾における出入管理情報システムの導入の一層の強化など、物的基盤の整備を促進

4 国際社会と連携した取組の推進

✓ 国際社会と緊密に連携したテロ対策の推進

- 国連安保理において、断固として非難するプレスステートメントを発出

➡ 今後は、伊勢志摩サミットで取りまとめた「テロ及び暴力的過激主義対策に関するG7行動計画」を着実に実施し、特に、アジアにおけるテロ対策を強化

G7行動計画の
着実な実施

- 情報共有、水際対策、テロ資金等対策の強化
- 暴力的過激主義に対抗するための穏健な社会の構築を目指した取組を強化